2018年10月6日

平成30年度秋季代表委員会　専門部会議事録

日時：平成30年10月６日(土)　13:43～14:04

会場：明治大学　駿河台キャンパス　研究棟　2階　第10会議室

出席：青山学院大学、学習院大学、東京外国語大学、関西大学、関東学院大学、立教大学、日本大学、お茶の水大学、駒澤大学、東京大学、早稲田大学、藤井副会長、日光市小島様、東F委員長、関野F委員、佐藤F委員、中根F委員、野口F委員、近藤F委員、堀田F委員、石川F委員、古屋F委員

議事録作成：堀田F委員

東F委員長より第91回日本学生氷上競技連盟競技選手権大会フィギュア部門要綱について報告がなされた。

昨年度との変更について、男子クラスの表記が数字表記からアルファベット表記に変更になった。クラス表記は男子7.8級クラスや女子6級クラスのように性別、級、クラスと表し男女ともに統一する事となったと述べられた。

出場制限について補欠の人数については後述。

競技課題について、ショートプログラム7.8級クラスは2分40秒となったことを要綱の訂正とホームページにもそのように記載することと共に確認された。加えて、東西インカレも含めインカレでは女子5級クラスは本年度よりノービスA課題３分となっている。ただし、男子5級は男子6級クラスと同じクラスとして競技を行う関係でISUのジュニア課題3分30秒のものを採用している。日本スケート連盟の課題という点とISUの課題という点で異なっているため該当の級の方がいる大学は注意してほしい旨が述べられた。

学校対抗の得点について、例年通り得点に反映されるのは男女ともに7.8級クラスのみでアイスダンスは反映されないことが確認された。

次に、アイスダンスの課題要綱案の選手権課題について学連の技術顧問の方から要綱について訂正が入ったとして東F委員長より報告がなされた。

本年度のアイスダンス課題は選手権クラスはフリーダンス、ISUシニア課題である。

準選手権クラスに関して、名称がショートダンスではなくリズムダンスに変更となった。よって内容に変更はないがリズムダンス学連課題という名称となる。

1番はシークエンシャルではなくシーケンシャルツイズルと変更となった。

2番は一つという個数はなくショートリフトとなる。

3番以下記述通りパターンダンスの要素を一つ、ノンタッチステップシークエンス組まないものを一つとなる。時間が2分50秒、音楽はパターンダンスの要素は必ずマーチのリズムになるように定め、その他は自由となる。パターンダンスの要素にはフォーティーンステップを取り入れることか必要である。

補足、東F委員長より日本大学代表学生へ日本大学男子選手の登録を受け来年以降ブロックはジュニアに出るがインカレは7級のためシニアの課題で出るという場合、要素登録が間に合わない時は個別にメールをいただければ対応できるという事が述べられた。

第91回日本学生氷上競技連盟競技選手権大会フィギュア部門要綱及びアイスダンス競技要綱について承認された。

東F委員長より以下の連絡事項ついて述べられた。

・第91回インカレ出場資格について、東西インカレにおける予選通過者数については昨年度から変更なし。人数についても今年の春インカレ終了後に各加盟校に送付したものと変更はない。

・大学ごとのインカレ出場枠について例年問い合わせが多いが、東西インカレで決まるのは各校に対して付与する枠であり誰が出場するかは各学校の判断にゆだねられる。枠を取得した選手でなくともその枠内であればインカレ出場選手を誰にするのかは各校に任される。

・7.8級クラスに関して、シード校が存在し、シードがある大学はシード枠含め３人までというのは昨年と変わらず。東京で関係するのは早稲田のみ。

・補欠のエントリー数について、今まで各クラス1名という表現があったが本年度から

上限を定めないこととなった。ただし、出場可能人数を超えてのエントリーした大学は必ず滑走順抽選会までに誰が補欠か学連に申請する必要がある。抽選会以降補欠の変更は認められない。

・東インカレは抽選会を協議開始の前日に行う。

日程：11月8日(木)　18：15から早稲田大学早稲田キャンパス３号館306教室

・補欠について補足

・今年度より補欠無制限としたことに関して学連としては参加大学に選択肢がより長く残るようにという思いで行っており、参加校のメリットのみを考えての措置である。

・補欠登録をするかしないか、例年通り1名で登録するのか、当連盟加盟選手全員を登録するのかは各大学の自由となるがエントリーには一人につき15.000円登録費が発生する。

・期限内であればいつ申し込んでもよいが申し込みの際に登録料を支払う。

・加盟校に不利益な点があるようには考えてないが昨年に比べ不利益があれば来年度検討するため一報学連に寄せていただきたい。

・インカレの申し込み11月19日から12月7日まで締め切りとなっている。東西インカレと同じく申し込み期間を超えての振り込みや申し込みは受け付けられない。

・東西枠数の確認は学連のHPに上がっているため東西インカレ終了後などに確認したい方は見ることができる。

以上の連絡事項が述べられ、その他インカレの宿泊について

東F委員長よりインカレの宿泊は必ず学連を通して予約するようにすることが確認された。

理由として、宿泊施設は年始で観光シーズンのため割高になっているところを日光市の方に抑えて頂いているため、個人で予約してしまうと迷惑や混乱のもととなり今後宿泊について手配していただけなくなってしまうと注意喚起された。

佐藤F委員より開催地の人に取ってもらっているため宿が足りなくなることはないので必ず学連を通して予約することを確認された。

日光市小島様から土日を挟む日にちの関係で割高なところを旅館組合の方でインカレのために枠を取ってもらっているので承知していただきたい。また、一人で参加の人は個人でも可能だがグループを組んでの申し込みもできるという事が述べられた。

最後に東F委員長より学生同士ではこのような会議の内容が浸透しているが監督さんなどには伝わっているかはこちらが知ることは出来ないので各校に送付した議事録を読まなかったことによる不利益に責任を持てないため、各校に議事録にしっかり目を通すことのお願いがあった。